



地域と学校の絆を深めよう ～三島中 さわやかサミット～

未来を担う子どもたちを地域全体で育てていこうと今年度から始まった地域学校協働本部。8月30日、地域の人や小中学生が総勢60人ほど集まり三島中学校で「さわやかサミット」が開催されました。この日のテーマは“あいさつでつくる地域の絆”。子どもたちが地域の人たちと積極的にあいさつを交わすためにはどうしたら良いか、各班で意見が出されました。多くの子どもたちが大人の前で堂々と意見を述べ、実りの多いサミットとなりました。



1 生徒会のメンバーが事前アンケートの結果を発表 2 住む地域や立場が異なる人で構成されたグループ 3 大勢の人を前に小学生が立派に発表 4 各班では中学生が司会となり議論をまとめていきます



子どもたちを地域の手で育てよう ～西那須野地区 自然体験塾～

9月8日に三島神社で自然体験塾が開催され、50人を超える地域の子子どもたちが大集合。竹などを手作業で加工しながら、地域の世代間の交流を図る取り組みで、今回で第66回目を数えます。

大人が手作りで設置した竹にそうめんが流れると、子どもたちは大はしゃぎ。今回で5回目の参加という大武咲磨くん(三島小・4年)は「流しそうめんが毎年楽しみ。とっても美味しい」と目を輝かせて教えてくれました。



新しい野球場の記念すべき第1球 ～くろいそ運動場野球場リニューアル～

供用開始から43年が経過し、老朽化が進んでいたくろいそ運動場野球場。観覧席の設置やスコアボードの電光掲示板化など2年にわたる改修を経て、9月1日リニューアルオープンを迎えました。

この日はオープンを記念して、関甲新学生野球公式試合を開催。その始球式に登場したのは、市内の学童野球の9人の子子どもたちです。この日は1球だけで終了でしたが、新しくなったグラウンドでのプレーが待ちきれない様子でした。



響け、私たちのハーモニー ～中学校合唱フェスティバル～

9月17日、黒磯文化会館の大ホールに美しい歌声が響き渡りました。市内の中学校の合唱部が一堂に集う中学校合唱フェスティバル。5回目を迎えた今年には9校が参加し、日ごろの練習の成果を披露しました。本市は中学校の合唱が盛んで、高林・三島の両校が関東大会に出場しています。最後は参加者全員による全体合唱。370人の迫力ある歌声に、会場内の人たちは魅了されていました。



ベストを尽くして がんばるぞ ～市小学生陸上競技記録会～

9月6日、にしなすの運動公園を会場に行われた市陸上競技記録会。台風一過で晴天に恵まれたこの日は、市内の小学生が総勢900人ほど集まり、各種目で熱戦を繰り広げました。

夏休み期間中から練習を重ね、それぞれが持つ力を精一杯出し切った子どもたち。会場の周りでは保護者はもちろん、同じ学校の友人を応援する子どもたちの姿が数多く見られました。



世界レベルの泳ぎを伝授

～ブリヂストン×オリンピック×パラリンピック a GO GO!～

にしなすの運動公園を会場に9月24日に行われた「ブリヂストン×オリンピック×パラリンピック a GO GO! in 那須塩原」。この日は、オリンピックやアスリートと一緒に運動会をしたり、さまざまな種目のレッスンが行われました。水泳レッスンでは、オリンピックで複数のメダルを獲得している本県出身の萩野公介選手が世界一の泳ぎを披露。参加した子どもたちは、萩野選手から熱心に泳ぎを学んでいました。



歴史を語り継ぐ 子どもたちも熱演 ～那須野の大地～

今年5月に日本遺産に認定された明治期の那須野が原開拓。その歴史を陰で支え、数々の苦難を越えて土地を切り開いた名もなき先人たち。その物語を今に伝える創作劇「那須野の大地」が9月16日、三島ホールにて第19回目の上演を迎えました。

この日のために練習を重ねてきた“市民劇団なすの”。昼の部・夜の部ともほぼ満員の観客は、臨場感あふれる名演を観ながら、当時の情景に想いを馳せているようでした。